

第19回「青松賞」懸賞論文審査結果

令和5年12月5日、「青松賞」懸賞論文選考委員会*が開催され、18件の応募から以下の通りの選考結果となりましたのでお知らせします。

優秀賞 植木 成美（人文学部4年）

体験格差の是正に向けての方策

栗原 美優（法学部1年）

貧困と格差について考える

渡邊 剛（経済科学部4年）

貧困の世代間連鎖について考える

奨励賞 伊勢 陽向（経済科学部3年）

夏の風物詩と格差

松田明希花（経済科学部4年）

～貧困と格差について考える～

以上5名

入賞者への表彰のご案内、選外の応募者への記念品贈呈の予定については、メールで皆様に連絡させていただきます。

受賞論文は別刷冊子を作成し希望の方に配布予定です。お申込み等は同窓会事務局まで連絡ください。

今回の審査結果は同窓会HPでも発表予定です。

※選考委員

人文学部長・法学部長・経済科学部長・同窓会長・同窓会事務局長 以上5名

(予告) 第20回「青松賞」懸賞論文のテーマは

AIについて(仮題)

正式なテーマと募集要項は令和5年4月に発表します。同窓会HPでも発表予定です。

新潟大学人文・法・経済科学部同窓会(青松会) せいしょうかい 事務局

メールアドレス dousou@econ.niigata-u.ac.jp

同窓会HP <https://www.niigata-u-jhk.com/>

TEL&FAX 025-262-6297/6429